

企業と加工メーカーをつなぐ 「ビジネスマッチング」事業が拡大 加工技術の研鑽と新規事業の発展にも貢献

(公財) 燕三条地場産業振興センター

(公財) 燕三条地場産業振興センターが取り組む「ビジネスマッチング事業」が好調だ。同事業では、金属加工集積地、燕三条地域が有する加工技術について熟知した選任スタッフが、加工業者を探す企業のニーズを丁寧に聞き取った上で最適な加工メーカーを紹介してくれるというもの。また紹介だけではなく、実際に受注し、試作を経て量産にこぎ着けるまで、加工メーカー・発注企業双方をサポート。「頼んでよかった」「受注できてよかった」と双方が思える取引の実現をめざしている。2021年の10月18日にホームページサイトをリニューアルして以降はさらに問い合わせやマッチング実績も増加しているという(図1)。

ミスマッチを防ぐため ～最適な技術と量産能力のマッチングを

ビジネスマッチング事業では今までに1400件以上のマッチング実績がある。サイト経由で来る問い合わせは製造業関連メーカーだけでなく食品・半導体・アウトドア・建築・化学・医療関連やアパレル関連など多様だ。

「事業には現在、燕三条地域の764社がマッチング対象の加工メーカーとして登録をいただいています。プレス、板金、鍛造、鑄造、塗装、めっきなど幅広い加工メーカーが狭い地域に、しかもそれぞれが協

業体制を築いているのも、古くからのづくりに取り組んできた地域の強み。1つの製品に幅広い加工が必要な場合もすべて近隣でまかなえています」

そう話すのは、ビジネスマッチングの専任スタッフである山家攻氏だ。山家氏は技術士(金属部門)・中小企業診断の国家資格をもち、その専門知識を活用しながらさまざまなマッチングを実現させている。前述のように燕三条地域には多種多様な加工メーカーが集まっており、また地域の知名度も高い。しかし一方で、それらの加工メーカーの内1200社余りが従業員4名以上の企業規模のため、各社が自社の技術を広くPRするのは難しく、また探す側としても「適切な1社」に巡り会うのは困難だ。「せっかく新規のお客さんから問い合わせをもらっても自社が保有していない加工機が必要だったり、生産数が規模に合わなかったりというミスマッチが頻発し、双方が疲弊してしまいがち。その点、ビジネスマッチングでは、燕三条地域の各加工メーカーのキャパシティや加工能力、周辺の協業状況などの情報を精査したうえでマッチさせますので、スムーズな受注につながります」(山家氏)

ホームページリニューアルの成果

2021年でのホームページリニューアルではマッチング事例とともに実際に活用した企業の「お客様の声」などを掲載。実際の量産に至るまでのフローとともに事業の利点やサポート体制をわかりやすく紹介している。



図1 サイトのQRコード